

第7章 街づくり 第1節 土地利用

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
都市計画課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	<ul style="list-style-type: none"> ・旧暫定逆線引き地区である5地区について、今後の街づくりの方向性を決定することができた。 ・市街化区域編入を目指す3地区については、具体的な事業の検討を進める組合設立準備会を結成することができた。 ・土地利用転換推進エリアのうち産業系土地利用転換を目指す1地区については、具体的な事業の検討を進める組合設立準備会を結成することができた。 	H30年度に改善した点 <ul style="list-style-type: none"> ・複数の地区の検討が平行して進められる中で、各地区のこの進捗状況等について定期的にグループ会議を行い、内部での情報共有を図った。 ・委託契約における契約内容や助成金の支出項目について、各地区の進捗状況を踏まえて平準化を行った。 	無	無		
	最優先	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①各地区で開催・出席した説明会、勉強会、役員会、総会の合計数(地元主催も含む) ②上記説明会等への参加者数	土地利用転換を図る地区数	<ul style="list-style-type: none"> ・旧暫定逆線引き地区5地区 ・土地利用転換推進エリア4地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧暫定逆線引き地区は、土地区画整理事業の実施もしくは用途地域の廃止により解消することを指標とする。 ・土地利用転換推進エリアは、土地区画整理事業等の実施により土地利用が可能になったことをもって指標とする。 							
	根拠法令	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績		H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	都市計画法	2.98人	非常勤特別職 0.00人			9地区	O地区								
	事業の具体的な内容及び目的	25,285千円	臨時職員 0.00人			H30年度目標	H30実績								
	市域を総合的に捉え、都市機能の無秩序な拡散防止と自然環境との共生に配慮しながら、定住人口や交流人口の増加、地域の活性化を図るため、計画的かつ適正な土地利用の転換をめざす。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合			9地区	O地区								
期間	3.59人	非常勤特別職 0.00人	R元年度目標												
H28年度～	30,084千円	臨時職員 0.00人	9地区												
都市計画課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	協議会設立の機運が高まっている地区に対する支援を行い、設立届出提出の準備ができた。(フラワーヒル地区)	H30年度に改善した点 特になし	無	無		
	優先	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①街づくり協議会との協議回数 ②協議会への街づくりアドバイザーの派遣回数 ③街づくり講座等の開催回数	街づくり条例に基づいた協議会結成届団体数(累計)	地域の特性を生かした市民主体の街づくりは、本市の将来都市像の実現に寄与する重要な街づくりの骨格となることから、結成された協議会を適切に支援していくとともに、街づくりの機運が高まっている団体等に対しても協議会結成に向けた支援を継続していく。								
	根拠法令	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	H29年度目標		H29実績									
	所沢市街づくり条例、所沢市街づくりアドバイザー派遣等に関する要綱	0.92人	非常勤特別職	6		6									
	事業の具体的な内容及び目的	7,806千円	臨時職員	H30年度目標		H30実績									
	具体的内容 ・市民への街づくりに関する情報の提供、学習の支援等 ・協議会からの要請による街づくりアドバイザーの派遣 ・主催の街づくり講座等の開催 ・街づくり講座の講師として街づくりアドバイザーを派遣 ・街づくり協定の締結や地区計画の策定の支援 目的 ・市民主体の街づくりを推進する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	7		6									
期間	0.42人	非常勤特別職	R元年度目標												
H17年度～	3,520千円	臨時職員	7												
都市計画課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	「総合都市交通体系調査業務委託」において、交通量調査(平成29年度実施)などをもとに交通量推計を行い、将来道路体系の検討を行うとともに、「所沢市街づくり基本方針改定委員会」や「市民検討会議」などを開催し、本市の街づくりの方向性について議論し、改定案を作成した。	H30年度に改善した点 特になし	無	無		
	優先	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①所沢市街づくり基本方針改定委員会の開催 ②所沢市街づくり基本方針改定市民検討会議の開催	令和2年4月改定(令和元年12月議会への議案提出)	有識者等による改定委員会や庁内関係部署による検討会議の意見を踏まえて作成した素案について、パブリックコメント等を経て改定案を作成し、議案を提出する。								
	根拠法令	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	H29年度目標		H29実績									
	都市計画法	1.90人	非常勤特別職	素案作成に必要な組織の設置		素案作成に必要な組織を設置した									
	事業の具体的な内容及び目的	16,122千円	臨時職員	H30年度目標		H30実績									
	都市計画法第18条の2に基づき定めた都市計画に関する基本的な方針「所沢市街づくり基本方針」について、本市の上位計画である第6次所沢市総合計画の策定等に伴い改定を行う。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	素案作成		素案作成									
期間	2.56人	非常勤特別職	R元年度目標												
H29年度～H31年度	21,453千円	臨時職員	改定												
都市計画課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	とことこガーデンや景観資源の登録件数は順調に伸びてきたものの、目標達成への貢献は不明確である。個々の取組みが「景観」「街並み」といった広がりがとして認識されるような取組みが必要となっている。	H30年度に改善した点 景観展示において、市の企画コーナーを設け、これまでと異なる視点から景観をアピールした。	無	無		
	優先	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①景観市民活動クラブの登録団体数 ②とことこ景観資源の指定件数 ③とことこガーデンの指定件数	平成30年まで:第5次総合計画市民意識調査での都市景観や街並みの満足度 令和元年度より:第6次総合計画6-1-2とことこ景観資源の指定件数	定量的な指標を用いることが難しいことから、平成30年度までは第5次総合計画における市民意識調査の「都市景観や街並みの満足度」を目標として設定していたが、令和元年以降は第6次総合計画における6-1-2「とことこ景観資源の指定件数」を目標とする。								
	根拠法令	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	H29年度目標		H29実績									
	所沢市ひと・まち・みどりの景観条例、景観法	1.12人	非常勤特別職	66.9		63.6									
	事業の具体的な内容及び目的	9,503千円	臨時職員 0.50人	H30年度目標		H30実績									
	具体的内容 ・景観まちづくりに取り組む景観市民活動クラブが、円滑に活動できるよう情報の発信、場の提供や代表者会議の開催、補助金の交付などを行う。 ・市民から「景観資源候補」を募集し、所沢らしい良好な景観の形成に資するものを「とことこ景観資源」として指定し、公表する。 ・所沢市景観審議会が選定した「とことこ景観賞候補」と「とことこ景観賞」として表彰する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	66.9		65.9									
期間	1.43人	非常勤特別職	R元年度目標												
H23年度～	11,983千円	臨時職員 0.50人	199												

第7章 街づくり 第1節 土地利用

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類		H29予算現額	H29決算額		項目名	指標名						目標設定の考え方・根拠	
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	582,819千円	252,853千円	①東西連絡道路工事	緊急車両の移動時間短縮	基地北側又は南側を利用し防衛医大に搬送していた緊急車両が、並木通り1号線と並木通り2号線の結節点間である東西連絡道路を利用して防衛医大に搬送する際に要する時間。		当初、社会資本整備総合交付金（補助率：5.5/10）の申請を予定していたが、より補助率の有利な防衛省所管の補助金の交付決定がなされたことから、防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金（補助率：7/10）の申請をしたことで、歳入を増加させることが出来た。						
	東西連絡道路整備事業	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②土壌調査業務委託(返還地)		H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		道路法・道路構造令・所沢市道路の構造の技術的基準を定める条例	886,253千円	173,825千円	③基地内施設建替工事	52秒		228秒		東西連絡道路の供用開始により達成されるため。					
		事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標		H30実績							
	東西連絡道路用地返還については、国との協議により、返還条件である基地内にある各施設等の移設・設置のうち、倉庫、消火水槽、施設出入口、基地運営用道路、道路境界柵等の施設の移設等について、本市が負担することになっていることから、東西連絡道路敷設工事及び各施設の設置工事等を行うものである。	1.17人	0.00人	①路体・路床の土壤入れ替えを実施	52秒	228秒									
	期間	H26年度～H31年度	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②調査進捗状況：100%	R元年度目標			評価者						
			9,927千円	0.00人	③工事進捗状況：80% 米軍へ一部引き渡し	52秒			企画総務担当 内野 孝雄						
			1.12人	0.00人											
				9,386千円	0.00人										